

皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

シワ・たるみは、肌の構造が崩れた問題であるにもかかわらず、なぜヒトはエイジングケア化粧品に頼るのか

シワやたるみは、長年の紫外線による皮膚バリアダメージと加齢が原因で肌の構造が崩れることによって発生します。これらの要素は、肌の深部にある真皮や表情筋、靭帯の衰え、そして代謝機能の低下による皮下脂肪の増加を引き起こし、結果としてシワやたるみを形成します。

アンチエイジングケア化粧品や美容液などの保湿化粧品の使用目的は、油分で肌表面を被い肌の乾燥を防ぐことです。肌が乾燥すると、水分が蒸発し、肌表面に凹凸ができることで浅い溝が現れます。また、皮膚バリア力が弱り、肌が乾燥したままにしておくと、小じわは深い溝になってしまいます。さらに、加齢によって女性ホルモンの分泌量が減少すると、乾燥が進んでシワが現れます。

しかし、たるみによるシワは、アンチエイジングケア化粧品や美容液などの保湿化粧品だけで対策するのは難しいです。アンチエイジングケア化粧品や美容液などの保湿化粧品で改善が可能なのは乾燥による小じわで、その改善も一時的です。それだけではたるみによるシワを完全に解消することは難しいというのが現在の皮膚科学の理解です。

皮膚バリア修復ケアと表情筋ストレッチングやリガメントトリートメントのコラボレーションは、たるみによるシワを完全に解消する可能性を示しますが、たるみによるシワの大きな改善を望むなら、美容医療によるシワ治療を考えることもあります。この主題についての研究は、皮膚科学の進歩に寄与しています。